

商店街の魅力を“明日”につなげ!

新宿区商店会情報誌

新宿商人

あきんど

創刊号
2016年10月号

話題のイベントをチェック!
江戸と多国籍文化に出会える
大久保まつり
百人町まつり
著名人インタビュー
「商店街の思い出」
福澤朗さん (フリーアナウンサー)

地域の力で一歩前進
地域住民×
商店街
早大西門体育館通り商店会
住吉町商工会



新宿商人

創刊号
2016年10月号

あきんど

目次

【連載】商店会ちよこつと散歩
第1回 若松商店会 3

【特集】地域の力で一步前進
地域住民×商店街
早大西門体育館通り商店会 4
住吉町商工会 6

【連載】「つなぐ」
対談：私はこうして店舗を引き継ぎました
第1回「串焼きおでん 吉の」 7

【連載】話題のイベントをチェック！
第1回 江戸と多国籍文化に出会える
大久保まつり
百人町まつり 8

【連載】著名人インタビュー「商店街の思い出」
第1回 福澤 朗さん 10
(フリーアナウンサー)

【連載】こだわりの逸品
第1回 船橋家の「インドラと豆大福」 11

【連載】売上アップ講座
人が集まる店頭ボードの作り方 11
第1回「通行人の足を止める3つのキーワード」

新宿区商店会イベントカレンダー／
区からのお知らせ 12

〈表紙の店〉

コーヒー専門店 ボルカン ☎03-3260-4588

直契約農園からの良質な豆を自家焙煎
1杯150円から楽しめる。

- ☑ 新宿区細工町1-2
- ☑ 地下鉄大江戸線牛込神楽坂駅A1出口から徒歩4分
- ☑ 10時～19時(土曜は～18時)
- ☑ 日曜・祝日



新宿区商店会情報誌 新宿商人

創刊号 2016年10月号(季刊)

発行／新宿区文化観光産業部産業振興課

〒160-0023 新宿区西新宿6-8-2 BIZ新宿

☎03-3344-0701

制作／株式会社JTBパブリッシング

©新宿区文化観光産業部産業振興課

※本誌のデータは平成28年8月現在のものです。発行後に料金、営業時間、定休日、メニューなどの営業内容が変更になることや、臨時休業等で利用できない場合があります。

商人の街 **今** **昔** ストーリー

高田馬場銀座商店街振興組合

JR高田馬場駅前から明治通りまでの早稲田通り約600mの両側に連なる高田馬場銀座商店街振興組合。昭和22年に発足した歴史のある商店街だ。



昔 1960年

早稲田通りには、高田馬場駅前→早稲田大学→大手町→茅場町を結ぶ都電が走っていた。

写真／新宿歴史博物館所蔵



今 2016年

飲食店が充実し、学生やビジネスマンで人通りが多い。毎年10月に高田馬場まつりを開催。

B 方来亭

ほうらいてい

☎03-5273-2290

野菜たっぷりのヘルシー餃子は毎日作りたてが味わえる

手作り餃子が人気の中華料理店。仕事中のサラリーマンのためにニンニクが控えめで、ニラと野菜がたっぷり入ったヘルシーな餃子は、毎日作りたてを提供している。野菜の水分が出てしまうので、創業以来、冷凍保存しないのがこだわりだ。

① 新宿区若松町 32-4
② 地下鉄大江戸線若松河田駅若松口から徒歩3分 ☎11時～15時、17時～22時 ☎ 不定休



毎回同じメニューを頼む常連さんが多いという。ラーメンや定食各種あり



当日作る餃子(440円)は売り切れ御免。野菜のうまみたっぷりでコクがあり、夜はビールと一緒に

1回1時間半の和菓子体験教室はいつも盛況。高度な年間プログラムにはプロをめざす人も参加する



① 新宿区若松町30-7 ② 地下鉄大江戸線若松河田駅若松口から徒歩5分 ☎10時～19時30分(土曜～19時) ☎ 日曜

試行錯誤しながら、いつも新しい商品を考えているという店主の片岡義雄さん

A 栄光堂

えいこうどう

☎03-3202-3799

手作り和菓子の体験教室も

みたらし団子と豆大福が自慢の和菓子のお店。定番商品の他に季節ごとに新作和菓子が店頭で並ぶので、それを楽しみに通うお客さんも多い。イートインもできるので休憩に寄ってみては。珍しい和菓子「ハレルヤ饅頭」を通信販売している。



商店会の中心にある大石書店。店主は商店会の生き字引き。こだわりを感じる本の並びにも注目!

商店会 ちよこっと散歩

【連載】第1回 若松商店会

いつもは通り過ぎる商店街も、ちよこっと散歩で新たな発見。昭和26年に戸山町と若松町の商店が結成した若松商店会には、懐かしい店や隠れグルメな店が並んでいる。



元気のいいミルキーちゃん。散歩していたら声をかけてね

金にゃん!ワン!

看板猫&犬がいるお店



D 小笠原花店

おさわらはなてん

☎03-3203-4187

昭和33年創業の老舗花店。店主の作る色鮮やかなフラワーアレンジメントはリボンをかけてくれるのでプレゼントに最適。新宿区近隣なら配達もしてくれる。

① 新宿区若松町25-21 ② 地下鉄大江戸線若松河田駅若松口から徒歩5分 ☎9時30分～18時30分 ☎ 日曜

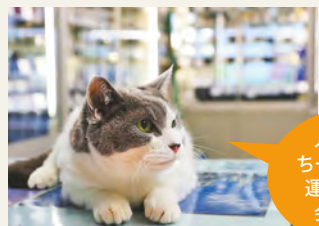
C カメラの極楽堂

かめらのごくらくどう

☎03-5273-1932

コンタックスの専門店。名品、珍品を求めて熱烈なコンタックスファンが全国から訪れる。すぐ隣にはレンズが豊富に揃う姉妹店のフォトベルゼがある。

① 新宿区戸山1-1-8 ② 地下鉄大江戸線若松河田駅若松口から徒歩5分 ☎11時～20時30分(日曜・祝日～18時) ☎ 月曜



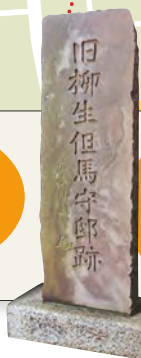
人見知りのちーちくりん。運がよければ会えるかも



商店街を火災から守る八兵衛稲荷神社は江戸時代初期の創建

火防の神 八兵衛稲荷

路地を入ると時代劇で有名な柳生但馬守宗炬の旧邸跡の碑が



地域住民×商店街

〈特集〉
地域の力で一歩前進

活気あふれる商店街には、周辺地域の人たちとの「店とお客さん」を超えた関係がある。今回は2つの商店街の事例から、商店街と地域とのつながりについて考えてみた。



商店街と学生で創る祭り

- ①早大キャンパスで行われる「早稲田地球感謝祭」であいさつする北上会長
- ②学生たちは模擬店やブースを出してイベントに参画
- ③「早稲田かつお祭り」でも商店会と学生がタッグを組む

写真協力/
まっちワークグループ早稲田

早大西門 体育館通り商店会

商店街がサークル活動の拠点
学生が一役買う「まちおこし」

商店会と早大生は 街を盛り上げる同志

「この店に来る学生はもちろんお客さんなんですけど、同時に早稲田という街を一緒に盛り上げる「同志」でもあると思っています」

と話すのは、学生の街・早稲田で、早大西門体育館通り商店会に店を構える三品食堂の店主、北上昌夫さん。北上さんは同商店会の会長で、周辺7商店会の集まり「早稲田大学周辺商店連合会」の会長でもある。早稲田のまちおこしのリーダー的存在だ。「まちおこしイベントのときなどは、



北上昌夫会長
「学生は卒業してOBになっても来てくれるのがうれしいですね」

必ず早稲田大学の学生に実行委員に入ってもらっています。なくてはならない貴重な戦力として、商店会でも期待しているんですよ」

商店会の期待に応え、多くの学生たちがサークル活動の一環などでまちおこしに参画している。「まっちワークグループ早稲田」もそんなサークルの一つだ。

「学生の私たちが考えた企画を商店会の大人の方が真剣に聞いてくれ、企画がよければ積極的に採用してくれるので、やりがいがあります」

そう話してくれたのは、文化構想学部3年の伊藤舞穂さん。

「イベントのために企画から運営まで関わっているの、主催は商店会でも、自分たちのイベントだと思っ



学生の大事な思い出が詰まった早大西門体育館通り商店会



商店街にあふれる学生の早稲田
西門通りにある商店街マップは学生による手作り



「東京のお父さん」
三品食堂の北上さんをはじめ、気軽に相談できる商店街の店主は、地方から来ている学生にとって東京のお父さん、と呼べる存在



早稲田名物づくり

①江戸東京野菜の一つに認定されている早稲田みょうがは、江戸時代から珍重された伝統野菜。商店会の協力で復活へ
②歴代の早稲田ビール。右端が最新のパッケージ



て参加しています」
世代を超えた商店会と学生のチームワークで、毎年9月に開催されるのが、「早稲田地球感謝祭」だ。
**日頃の人間関係作りから
学生を商店会活動に**

「早稲田地球感謝祭」は、会場は早稲田大学だが、主催は商店会。その名の通り「環境」や「防災」の企画展もあるが、主眼はあくまで早稲田の「まちおこし」だ。商店会、地域住民、地元小中学校、そして早大生による、作品展示、飲食模擬店、パフォーマンスなど盛りだくさん。1日で3万人を集めるという。早稲田のまちおこしの起爆剤といえる一大イベントなのだ。20年前にイベントを始めたときは、商店主だけでなくすべてを仕切っていた。「各店が総出でイベントに取り組みと、その日は商店会が空っぽになってしまふ」と、北上さん。「それでは本末転倒。そこで、学生に手伝ってもらうことを考えたんです」
初めは店の常連客に声をかけ、そのコネクションで参加者を増やしていったという。学生はそんなに簡単に手伝ってくれるものだろうか。「常連さんには日頃から声をかけてますから。テストはできた?」とか、「就活はどう?」とか。手伝いを頼める人間関係はあったんですよ
常連客との日常のコミュニケーション

ンは、街の活性化の一つのキーワードになるかもしれない。
**学生が街に愛着を持ち
店が賑わう好循環を**

2012年から行われている「早稲田かつお祭り」は、大学側の提案に商店会が賛同して始まった。気仙沼のかつおを使ったメニューを商店会の飲食店で提供する。学生を介して、商店会と大学との協力で行っている東北復興支援イベントだ。
イベントだけではない。早稲田ビール、早稲田みょうがなどの「名物づくり」にも、学生の発想が生かされている。西門商店会には学生だけで経営する「02cafe」があり、商店会の活性化に一役買っている。
商店街自体が学生のサークル活動の拠点になっているようだ。
「中学から早稲田に通っていますが、イベントや打ち合わせで商店会の人たちと話すようになって、自分の街になったという実感が生まれました」と、まっちワークの教育学部2年、山崎捷人さん(と)は言う。伊藤さんも「地方から出てきた学生にとっても商店会に顔見知りの大人、東京のお父さん」がいることは心強いと思います。
客以上の関係を作れば、学生が街に愛着を持ち、さらに商店街には客が入り、活性化化する。そんな好循環が、早稲田の街に見えてくる。

02cafe (にかふえ) — 代々学生だけで経営する本格カフェ



井みで
煮染み
煮玉子
味が煮
角煮が
から煮
わかた
やわらか
やわらか
たが進む
たが進む

商店会で運営を学び
街を越えた社会貢献も
早大西門体育館通り商店会の中ほどにある「02cafe」は、10年前にオープンした、学生だけで経営しているカフェ。「バイトでもサークルでもない校外の居場所」を目指している。
手作りランチと季節のオリジナルスイーツが人気だ。
「バイトとは違う形の社会勉強ができればいいと思っっています」と語るのは店長の鈴木遼太さん(先進理工学部3年)。「共通クーポンの扱いなど、わからないことは北上さんをはじめ、商店会の方に教わりながら店舗運営を学んでいます」
今は、学生を通じて知った消滅危機の農村と「ラボして有機野菜のメニューを出すなど、街を飛び出した社会貢献も始めている。」

☎03-6904-2902 ⑤新宿区西早稲田1-4-18 ⑤11時30分～18時 ⑤土曜・日曜・祝日・大学の夏季休暇





写真協力/
写真館「思いで」



写真協力/
宮崎写真館



①曙橋駅から東京女子医大病院に向かう約360mの商店街。入り口にあるアーチが特徴的
②商店会の写真館「思いで」の協力で記念のハロウィン撮影会も
③ハロウィンでは通りでさまざまな催しが待っている

PTAや地域住民が一体となり 子どもが楽しめる商店街に 住吉町商工会

フジテレビ移転で打撃も ハロウィンで復活

「あのころは夜中でも通りがざわざわしていた」と話してくれたのは、旧・フジテレビ通りで創業104年、大角玉屋の社長で、現・住吉町商工会会長の大角和平さん。近くにあったフジテレビが台場に移転したのが1997年。関連会社を含めると3万人が街から消えた。鍋倉服装の鍋倉吉徳さんによれば、「たばこの売り上げが3分の1ほど減った」。店も減り、店主たちのモチベーションも下がっていた。

その6、7年後、商店街が動き始めた。契機になったのが、近隣のハロウィンイベント。商店街の店主が、近所に住む小学生の父兄から「ハロウィンの日にお店で子どもにお菓子をあげてほしい」と頼まれたのだ。

「商店街は通学路なので、お店の方に子どもの顔を覚えてもらいたかったです。通学路に知っている人がいると安心ですから」。牛込伸之小学校PTA会長の岸靖乃さんは言う。最初に参加した子どもは15人ほど。

大角和平会長

「イベントで一度店に入ってもらえば、次はお客さんとしても入りやすい。それがわかれば協力店も増えるはずです」



鍋倉吉徳さん
「芸能人の街から地域住民の商店街に変わって生き残っています」

また覚えられる人数だ。それから保護者のつながりで近所の東京韓国学校にも声がかかり、近隣の4小学校から参加するようになった。今では3000人が通りを埋め尽くす。

「人が集まっても、その日の売り上げが伸びるわけではありません。商店街にとっては、どこにどんな店があるか、知ってもらうことが大切だと思うんです」と、大角さんは言う。

「人が集まったときに各店が店内に入ってもらう工夫ができるようになれば理想的ですね」



スーパーや生花店などが彩りを添える活気ある商店街は、新興住宅街にあってコミュニティの中心となっている



それでも、このイベントをきっかけに、商店街、PTA、町会の役員らが定期的に集まるようになった。町会のお祭りでも、学校の行事でも、一体となって取り組む。商店街に足を運ぶ機会も増えているそうだ。

「ここは火事が少ないんですよ。町会と子どもたちが火の用心の見回りをしてくれるから」と鍋倉さん。

楽しいだけでなく、子どもが安心して通れる商店街づくりが、さらなる発展のカギになっているようだ。

【連載】「つなぐ」

対談：私たちはこうして店舗を引き継ぎました

第①回「串焼きおでん 吉の」さん(父→息子)

店の先代と跡継ぎが語り合う、引き継ぎ対談。第1回は病気で和食店を開めた父と、気軽に入れる小料理屋として復活させた息子が、その経緯を話してくれました。

大変さを知っているから
継がせようと思わなかった



父・吉野真一さん「自然に店を継いでくれてうれしかった。味覚がしっかりしているからやっていけるでしょう」

40年前、父が大久保通りに出した和食店「吉の」人で賑わった店は、息子の格好の遊び場だった。

【父】店を誰かに継がせようと思ったことはなかったな。この仕事の大変さを知っているから。

【息子】僕は子どものころから料理に興味があった。両親があまりいない家で、自分で作って食べているうちに好きになっただろうね。店では板前さんと遊んでばかりで仕事は見えていないから、父親に憧れたわけではないけど(笑)。

【父】夏休みの宿題で魚の解剖をするというので、イサキをさばいて見せてあげたことがあったらう。食い入るように見えていて、料理に関心があるのかもしれないと思ったね。

息子は調理専門学校卒業後、他の店に修行に出た。3年後、父の店で働き始めたが、父が軽い脳梗塞を発症し、店を閉めることになった。

【息子】そのときに僕が店を継ぐ話が出たけど、気持ちがあっても腕に自信がない。もう一度外で修業させてほしいと頼んだんだよね。

5年後、息子は戻ってきた。まずは家族だけで切り盛りできる規模で「吉の」を再開。そのころは父も店を手伝えるまでに回復していた。

【息子】前の「吉の」は会社員が団体で来る店だったけど、新しい店は一人でもふらっと寄れるような家庭的な店にしたいと思った。

【父】私も最初はその方がいいと思っていた。

【息子】同じ店とはいえないけど「吉の」の名前を継ぐことで、昔のお客さんも来てくれる。

いいものを食べた経験が
後継者の味覚を育んだ

【父】前の店の常連さんに喜んでもらえたのがうれしかったね。味覚がしっかりしているから、いい料理が出せるんだよ。

【息子】子どものころから、遊びに行くよりおいしいものを食べに連れて行ってもらったから、舌が肥えたのかもしれない。

【父】継いでくれと言わなくても、一緒に食べ歩いて、おいしいものを教える時間を持てていたことが、跡継ぎを育てたんだろうね。

【息子】継げと言われたら継がなかったね(笑)。



息子・吉野太郎さん「自分で店を出してから大変さがわかった。お客さんが求める味を出せる父の腕はさすがです」



「初めは好きにやらせてくれましたが、今では調理のアドバイスが増えました」と太郎さん。「生活がかかっていますから(笑)」と真一さん



串焼きおでん 吉の

●くしやきおでん よしの

☎03-3209-0012

📍新宿区大久保2-19-1 セントラル大久保1階 🚶JR新大久保駅より徒歩10分 🕒17時～翌2時 🗓土曜

【連載】

話題のイベントを
チェック! 第1回

新大久保商店街振興組合
新宿百人町明るい会商店街振興組合

大久保まつり 百人町まつり

毎年体育の日に行われる「大新宿区まつり」協賛の「大久保まつり」と「百人町まつり」は、多国籍文化と江戸文化が共生してできあがる面白いイベントだ。その舞台裏を2つの商店街のキーパーソンに語ってもらった。

演目多彩な合同パレードに 沿道から拍手喝采!

毎年、体育の日に、大久保通りを中心に構成される新大久保商店街振興組合と新宿百人町明るい会商店街振興組合の2つの商店街で「大久保まつり」と「百人町まつり」が同時開催される。

祭りの一番の見どころは、大久保通りで行われる合同パレード。新大久保商店街振興組合からは、韓国の伝統音楽・サムルノリの演奏や韓国伝統舞踊などが参加し、新宿百人町明るい会商店街振興組合では150人以上で民謡踊りを行うなど、2つの商店街がそれぞれ地域の特徴を生かした演目でパレードを盛り上げている。

このほかにも、「大久保まつり」では、日本年金機構の前の広場でジャズフェ

インタビュー
キーパーソンに聞く

伊藤節子さん
新大久保商店街振興組合理事長

ジャズや国際交流など
祭りで街の魅力を発信!

「大久保まつり」を始めた当初は、業者に委託して子ども用遊具を置いたり、歌謡ショーをやっていたようです。祭りは、地元商店街で買い物をしてくださるお客様への還元が目的でしたので、お客様には、祭りの日に模擬店で使えるサービス券を渡していました。パブルが弾けて商店街が下火になった頃、立教大学の学生たちと一緒に商店街の活性化について考える機会がありました。そのとき、大久保はジャズの店や楽器店が多いから「音楽やジャズの街にしよう」という話になったんです。それで、平成10年の「大久保まつり」からジャズフェスティバルを開催しました。ミュージシャンは公募し、アマチュアのバンドや大学のバンドが集まりました。そして、地元に住むプロの方にも出演をお願いしました。お金はありませんから、「交通費ぐらいですが」と言って頼み込んだんです。快く引き受けてくださり、今でも続けて出演してくださる方もいます。

その頃から商店街役員の中でも、祭りに対する盛り上がりが大きく変わってきました。そして、企画や運営も自分たちでやるようになりました。当時の大久保は、怖い・汚い・暗い

という3Kの街でした。韓国系のお店ができたのもその頃です。その後、韓流ブームもあり、韓国系のお店も増えて、観光客も訪れるようになりました。人が集まるようになつたおかげで、街が賑やかになり、明るく、きれいになりました。

そして、韓国の人たちにも祭りに参加してもらうようになりました。文化の違いや言葉の壁など思い通りにならないこともありますが、「一緒に祭りを盛り上げていこう」という共通の意識を持つことができていると思います。

長いことやっていますから、困ったこともたくさんあります。私が祭りの担当者だったとき、パレード直前に土砂降りになりました。パレードは中止になりましたが、その後にパッドと晴れたのです。しかし、パレードの参加者はみんな解散して1グループだけが残っていました。その1グループだけでパレードをしたこともあります。だから、雨が一番困りますね。

毎年7月頃から、「大久保まつり」の準備を始めています。これからはぜひ、大勢の人に喜んでいただける祭りになっていきたいと思っています。



上／東京韓国学校の生徒たちによる舞踊や韓民族衣装のパレードなどもある 下／新宿交通少年団の子どもたちも鼓笛隊で参加する

ジャズや太鼓など音楽が鳴り響く 大久保まつり



- ①「音楽フェスティバル」には大久保小学校の大久保太鼓やプラスバンドも出演
- ②迫力ある和太鼓の演奏
- ③合い言葉は「みんなの力をひとつに」。2つの商店街、日本人と外国人、みんなが力を合わせて祭りをつくる



①パレードには新宿百人町明るい会商店街振興組合のマスコット・同心くんも参加 ②子どもたちの熱気に包まれる戦隊ショー。「百人町まつり」の人気イベントになっている ③民謡パレードには戸山小学校の太鼓の会も参加する



戦隊や同心くんに子どもが夢中！ 百人町まつり

ステイバルが行われ、大久保通り沿いの全龍寺やルーテル教会ではバザーが催され、模擬店が出店される。「百人町まつり」で行われる戦隊ショーは毎年恒例の人気企画。

バラエティに富んだ国際色豊かな祭りだけに、各地から韓流ファンも訪れ、外国人の姿も多い。2つの商店街が力を合わせて行う祭りは、今では新宿区を代表する祭りの一つになっている。

インタビュー 坂内英明さん （新宿百人町明るい会商店街振興組合理事長）

子どもたちは 戦隊ショーで大歓声！

当初、2つのお祭りは別々に行っていました。大新宿区まつり「協賛」ということになり、大久保通りでパレードを行うという計画から、そのために車道開放するには、大久保通りの途中から切ることもできないため、それなら一緒にやろうということになったのです。

私たちの商店街振興組合では、4月につし祭があり、8月には盆踊り、9月には皆中稲荷神社の例大祭があります。そして10月には「百人町まつり」と続きます。その準備が大変です。

「百人町まつり」のメインともいえる民謡パレードは、町会や商店街の婦人部などが集まって行います。開催日も近いので、参加者には8月の盆踊りの時に一緒に練習してもらっています。行きは鳴子を鳴らしながら踊る「よさこい」、帰りは「花笠踊り」。150人以上が参加しますから見たえががありますよ。お年寄りの方が沿道に席を取り、パレードを待っている姿を見ると、うれしいし、励みになりますね。

パレードは12時にスタートしてから14時過ぎまで途切れません。2つの商店街が一緒だからこれだけ長いパレードができるんだと思います。

これだけの規模というのは、商店街の祭りとしては東京でも珍しいんじゃないかな。

戦隊ショーもすごい人気です。子どもたちは夢中で歓声をおくっています。やっぱり子どもも喜んだ顔が一番ですね。お母さんたちもSNSで発信しているようで、結構、遠くからも来ています。自転車で大挙してやってくるので交通整理が大変です。

この戦隊ショーを始めてから10年以上になります。実は、家内がそういうショーのスタントマンをやっているその縁で戦隊ショーを呼んだのが始まりでした。当初は1回だけのつもりでしたが、人気があるので続けるようになり、今ではこれを楽しみにしている子どもも多いんです。

大勢の人が祭りを楽しんでくれるのは本当にうれしいことです。でも、パレードや混雑しているところを自転車が走り回っていることがありません。だから、私たちは「自転車は降りてください」というプラカードを持って立っています。声で注意すると喧嘩になることもあります。プラカードならそういうこともありません。とにかく、楽しい祭りになりたいという思いで運営しています。





ツツイデンキは昔からある街の電気屋さん。今も向かいにある白雪寿司も同級生の家

落合で生まれ、早稲田大学を卒業するまで新宿が生活圈でした。小学校までは家から20分、商店街を歩いて通っていたのですが、その通りの端に、漫画家の赤塚不二夫先生が仕事場に行っていたマンションがありました。赤塚先生の大ファンだった私は、友だちとサインをもらいに行っていたんです。呼び鈴を押すと、出てきたのは若いお兄さん。要件を話すと、「もらっておいであげるから、明日もう一度おいで」と。翌日行くと、そのお兄さんが丁寧にバカボンのパパが描かれた赤塚先生のサイン色紙をくれたんです。お兄さんは「漫画家の卵」というので、そのサインももらってきました。それが後に『釣りバカ日誌』で知られる北見けんいち先生。赤塚先生のサイン色紙も北見先生が描いてくれたのかなあ(笑)。

小学校の登下校で通った
中井の商店街
今も歩けば
懐かしい顔に会えます

Profile

フリーアナウンサー

福澤朗 ●ふくざわ あきら

1963年、新宿区生まれ。日本テレビでアナウンサーとして活躍後、2005年に独立。テレビ「真相報道バンキシャ!」「開運!なんでも鑑定団」等に出演中。



「商店街の思い出」
第1回
フリーアナウンサー
福澤朗
Akira Fukuzawa



かつて赤塚不二夫さんの仕事場があったマンションは今も健在。らせん状の階段が特徴的



商店街の突き当たりにある新宿上落合郵便局。記念切手が発売されるたびに行列ができた

不二夫先生という財産があるのだから、それをもっと生かせれば面白いかも知れませんか。今思えば、中井駅周辺の商店街には、これぞ商店街という活気があったように思います。近所の人は、生活に必要なものはみんなそこで買っていたから、学校帰りの通りは賑やかでした。よく寄った伊野尾書店や切手集めが流行ったときに並んだ郵便局は今も健在です。少し離れた駄菓子屋の平原商店は、今は違う商売になっていますが、よく行きました。当時5円だったアイスのホームランバーを食べながら帰る道は至上の喜びでした。

今でも、同級生がいたり、古い店をのぞけば昔の面影を残したおぼちゃんがいりする中井の商店街は、私の好きな場所です。今、活気のある商店街にはオリジナリティがあります。独自の「財産」を持つ中井の商店街もオリジナリティを発揮できると、私は期待しています。(談)

【連載】

こだわりの逸品

地元で愛される名品、話題の品をご紹介します



インドラを発案した山本さん。中辛のカレーの方が売れたけれど、それでは面白くないので、思い切って大辛にしたそうだ

第1回 船橋家の「インドラと豆大福」

牛込中央通りでひとときわ目を引く筆文字の張り紙。そこに書かれているのは3代目店主山本峰司さんが情熱を傾けてきた創作和菓子の説明だ。多いときは毎年30種類以上の創作和菓子を作ってきたというが、その中で看板商品になったのが「インドラ」。大辛カレーとアーモンドスライスを挟んだどら焼きで、甘さと辛さのバランス、アーモンドの食感が絶妙だ。このほかにもミルク入り練り切りで女性の乳房をかたどった「おっぱいちゃん」などユニークな和菓子が並ぶ。山本さんのモットーは「うまくて、安く、珍しい」「安ければ、お客さんは気軽に買ってくれる。だから、昭和60年以來値上げをしなかった。それだけに、消費税アップにともないやむなく値上げしたのが辛かった」と語る。ショーケースの上には、値上げを詫言る張り紙もあり、店主の心意気を感じる。



「儲けは度外視」という豆いっぱいの豆大福120円。インドラ140円はクセになる味で、リピーター続出



革新和菓子 船橋家

●かくしんわがしふなばしや

☎03-3260-1669

📍新宿区納戸町15 🚇地下鉄

牛込神楽坂駅A1出口より徒歩4分 🕒8時～19時30分

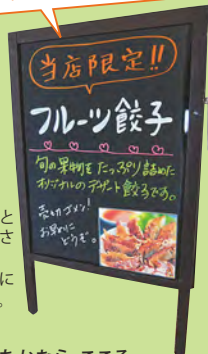
📅日曜、祝日



創業明治31年(1898)の老舗。日替わりの張り紙も地元の人の楽しみ

ここが重要

★“限定”を用いた例。最上部に大きく目立たせるように書くことがポイント!



(注) 道路に出すことは、法令で禁止されています。お店の敷地内に置いてください。

中村 心 ●なかむら こころ

株式会社店頭販促コンサルティング代表取締役。お店の店頭改善のコンサルティングで数多くの実績を挙げている。研修セミナーや『店頭手書きボードの描き方・作り方』(日本実業出版社)等、著作も人気。

<http://www.chanchacapoo.com/>

店頭ボードの

アドバイスを受けたいお店募集

誌上で中村先生のアドバイスを受けたいお店を募集します。店頭ボードを出したことの無い方もOKです。ご希望の方は産業振興課までご連絡ください。

人が集まる店頭ボードの作り方

店頭販促コンサルタント 中村 心 先生

【連載】
売上アップ講座

第1回

「通行人の足を止める3つのキーワード」

「店頭ボード」とは、ブラックボード等に文字を書き、お店の外に置いて集客する販促物です。出したことがない、「応出している等、様々だとは思いますが、実は、店頭ボードは集客上、非常に重要なツールです。ボード効果によって2週間で新規300%増を達成したお店もあるくらいです。」

店頭ボードはコツを掴めばとても簡単! 今回は、店頭ボードで簡単に注目を集める広告文を書くコツをお伝えします。

人の注目を集める広告文にはパターンがあります。その中でも王道なのが、「限定」「人気」「NEW」の3つのキーワードを使った広告文です。

「限定」とは、「11月10日まで特別開催」「新宿区限定」「50個限定」と

いう様に、時間・場所・個数等の限定をアピールすること。何らかの理由で購入を限定されると、人は、いつも以上に欲しくなってしまうものです。

「人気」とは、そのまま「人気商品です!」「大人気」等、人気度をアピールすること。

「NEW」とは、「新商品でました!」「待望の最新メニュー」等、新しい事柄をアピールすることです。どれも通行人の興味を引き、購買欲を引き上げるキーワードで、これらに即したメッセージを発信するだけで、いつもより注目を集める効果が期待されます。いかがでしょうか。3つのキーワードをお店に合うように言い換えて、店頭ボードでアピールしてみませんか?



新宿区商店会イベントカレンダー

開催日	日程	イベント名	主催
10月	24～11月30日	第18回地域住民・学生との交流活性化週間 ファミリーピンコ大会(10/30)	ワセダグランド商店会 (☎03-3203-4820)
	29日	ハロウィン	住吉町商工会 (☎03-3358-0752)
	30日	ハロウィンパーティ	目白銀座商店会 (☎03-3951-2947)
11月	10・11日	ミシラン2016	荒木町商店会 (☎03-3358-9339)
	12・13日	新宿トラッドジャズフェスティバル	新宿要通り共栄会 (☎03-3351-3219)
	20日	西早稲田子供天国	早稲田商店会 (☎03-3203-2262)
12月	1～15日	神楽坂レシート祭り	神楽坂通り商店会 (☎03-3268-2802)
	1～20日	歳末福引大感謝セール	西新宿商店会 (☎03-3372-0789)
	1～24日	歳末福引大売り出し	余丁町商店会 (☎03-3353-2455)
	1～25日	オレンジコートクリスマスセール	オレンジコートSC会 (☎03-3200-3642)
	1～25日	歳末サンクスセール	住吉町商工会 (☎03-3358-0752)
	1～31日	歳末感謝セール	目白通り商いの会 (☎03-3951-4302)
	1～31日	歳末大売出し	中井商友会 (☎03-3361-8922)
	1～1月10日	歳末イルミネーション	新大久保商店街振興組合 (☎03-3209-2368)
	3～17日	歳末感謝セール	四谷一栄会 (☎03-3351-0947)
	5～16日	四谷花いっぱいセール・もちつき大会(12/10)	四谷二丁目発展会 (☎03-3351-5360)
	5～19日	大感謝祭歳末セール	中井商工会 (☎03-3951-5655)
	8～18日	歳末大売り出し・抽選イベント(12/18)	柏木親友会 (☎03-3361-2534)
	9・10日	歳末大売り出し	戸山ハイツ西通り商店会 (☎03-5272-4393)
	10日頃	コミュニティ&チャリティバザー	新宿電話局通り親交会 (☎03-3363-3600)
	23日	サンタが街にやってきた(16X'masプレゼント)	新宿東口商店街振興組合 (☎03-3356-7961)

※8月10日時点で掲載希望があったイベント情報を掲載しています。開催日程は今後変更する場合があります。

“イチオシ商品”商談会 in 新宿を開催します！ ～エントリー募集中!!～

応募締切
平成28年
11/7(月)

新たな販路開拓、売上増加のチャンス!! 貴社のイチオシ商品をエントリーし、バイヤーと商談してみませんか?
エントリーシート1枚で簡単にエントリーが可能です。(バイヤーが選定した方のみ、商談へと進みます。)

商談会について

- 日時**
平成29年2月9日(木)
午後
- 会場**
BIZ新宿(新宿区立産業会館)
1階 多目的ホール
〈新宿区西新宿6-8-2〉
- 共催**
興産信用金庫、西京信用金庫、さわやか信用金庫、城北信用金庫、昭和信用金庫、巣鴨信用金庫、西武信用金庫、東京信用金庫、東京三協信用金庫、東京シティ信用金庫、東京東信用金庫、日本政策金融公庫新宿支店
- 後援**
信金中央金庫、東京商工会議所新宿支部

- 参加バイヤー**
伊藤忠食品(株)、(株)小田急百貨店、(株)高島屋、ドイト(株)、(株)東急ハンズ、(株)ドン・キホーテ、フードマーケットエコ・ピア、ベニースーパー、(株)三越伊勢丹、ヤマトホームコンビニエンス(株)

募集について

- 募集期間**
平成28年9月5日(月)～11月7日(月)
- 対象**
①食料品(例:和洋菓子、日配品、加工食品、飲料、酒、冷凍食品等)
②非食料品(例:生活雑貨、バラエティ用品、インテリア、DIY用品等)
③リフォーム工事施工(ドイト(株)のみ)

エントリーから商談までの流れ



問合せ先: 新宿区文化観光産業部産業振興課 ☎03-3344-0701

詳細は「新宿商談会」で検索!

「新宿商人」第2号は、2017年1月発行予定です 商店会の情報を募集します

商店会の皆様からの情報を募集しています。区内の商店会に向けて発信したい情報、クローズアップしてほしい取り組み等ありましたら、下記までお寄せください。

※「ちょこっと散歩」「つなぐ」に登場してくださる商店会、商店も募集中です。

※「商店会イベントカレンダー」の次回2号掲載分は、11月10日締切(必着)です。(1月中旬～3月の商店会主催のものに限ります)

新宿区文化観光産業部産業振興課

☎03-3344-0701 FAX03-3344-0221 メール:sangyoshinko@city.shinjuku.lg.jp

※本誌は、新宿区内の商店会・商店主向けです。一般に配布されるものではありません。また、ご応募いただいた案件、すべては掲載できない場合もありますのでご了承ください。